

日本原子力研究開発機構大洗研究所の非管理区域における 密封線源の破損に係る立入調査結果について

令和5年3月22日
防災・危機管理部原子力安全対策課

令和5年3月20日（月）、原子力機構大洗研究所から、高速実験炉「常陽」の非管理区域の作業エリア（A-507室）において、密封線源（アメリカシウム-241）が破損する事象が発生したとの連絡がありました。

破損した密封線源については、放射性同位元素等の規制に関する法律における規制対象外の線源であり、本日（3月22日）、原子力規制庁により本件は放射性同位元素等の規制に関する法律に基づく報告事象に該当しないと判断されております。

なお、県は、3月20日、直ちに大洗町とともに立入調査を実施し、A-507室周辺の屋内外における線量当量率・表面密度測定結果及び事業所敷地境界におけるモニタリングポスト測定結果から、環境への影響がないことを確認しております。